

歴史概念論議について——飛入御冤——

加藤 正

石原兄と森兄の喧嘩を誰か買わないかと編輯子が物騒な挑撥をやっている。唯研屈指の論理的頭脳が角を突き合つて居るのだから、うっかり手を出せば怪我をしそうだ。が、喰い違つて倒れそうな二本の論理の棒には、もう一本加えると、多少坐りがよくなるかも知れない。

石原兄は人も知る自然科学的唯物論および客観的自然の権利の弁護者で、自然そのものの歴史を人間の歴史の中に解消したり、その部分として扱うことに反対して、それから独立した意義を主張した。そして広義の歴史（実在の歴史性一般、例えば自然の歴史）と狭義の歴史（人間実践の変化、例えば自然と歴史）を混同しないよう注意された。尤も千万である。

森兄は、弁証法的唯物論ではこの問題は既に解決されている、『最近盛んになって来た歴史論』にこの問題の照明をも期待したりするのは訳が分らない、唯物論の立場を外しているものだけが広狭両概念の歴史を区別したり、その一方を他方へ解消させたり包括させたりするのだ、『自然の歴史と人間の歴史』これで沢山でないか、石原兄の広狭論は乱世的だ、と言われる。『問題は自然史と人間史（社会史）との関聯の仕方、否この関聯の捉え方だ』

勿論森兄のこの問題提起が遙に明確で、唯物論的だ。決して石原兄の言辞を誤解していない。判定を第三者に求めた森兄の政治的手腕は隅におけない。石原兄の問題提起が不明確というのは、観念論者も実在一般の歴史性と人間歴史との広狭の問題を提起するからだ。彼等は前者を後者の抽象と見る。そして抽象的である故に一般的で広義

だなどというのは弁証法を知らない人ですよと逆襲しかねない。

石原の意味で広狹を規定できるのは、既に唯物論の立場に立つての話で、しかもその立場に立てば問題をそんな風を立てることは、問題を発展させる所以<sup>ゆえん</sup>でない。当然森兄における如く立てらるべきだ。

石原兄が歴史の概念に変遷があり、用語の正確を期する必要から問題を提起されたとすれば、広狹両義の区別は却<sup>かえ</sup>つて問題を混乱させる。氏自身「ドイツ・イデオロギー」中の「歴史の二つの方面としての自然の歴史と人間の歴史」は広狹では処理できないことを意識している。この自然の歴史は必ずしも進化論的意味の歴史ではなく、自然の諸事象、自然過程の意だ。しかも人間が環境として見出す自然、人間実践の時代的変遷としての歴史の環境的方面をなす自然事象だ。従つてその存在は狡義の歴史に制約されている。これらの自然事象を、自然それ自身の自己発展としての歴史性の下に把握する事は自然把握のより進んだ問題だ。そしてこの自然史が問題となると、否応なく森兄の問題提起に直面することになる。だが、それになお一言加えると「否更に把え方の歴史だ、認識の歴史だ」唯物論の立場では人間そのものの歴史の地位と権利は確定している。観念論は認識の歴史（狭義中の狭義か）の中へ実在の歴史を解消し、且人間史を対象的に把握せずして認識史と同一視<sup>な</sup>乃至「原理的同格」視<sup>マ</sup>を唯物史観主義などと呼んだ人の気が知れぬ。概念の使用の正確を期するものは、認識史（概念自身の歴史）の唯物的分析の問題を提起せねばならない。僕が唯研昨年四、五月及十一月号で何等新問題を提起しなかつた如く公告される永田兄あたり今年は大いに緊<sup>きん</sup>禪<sup>ぜん</sup>一番して貰<sup>もら</sup>いたい。

とに角<sup>かく</sup>両<sup>りやう</sup>氏の鞞<sup>さやあて</sup>当<sup>あて</sup>は、森兄が、唯物史観主義攻撃のマンネリズムの揚足をとつたにあると見たはひが目か。

(一・三二)

(『唯研ニュース』第六五号、一九三七年二月一五日)

- 『加藤正著作集』第一巻（「加藤正著作集」刊行委員会、一九八九年十二月）所収。
- PDF化するにあたり、旧漢字は新漢字に、旧仮名遣いは新仮名遣いに改めた。
- 読みやすさのために、適宜振り仮名をつけた。
- PDF化には $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}_{2\epsilon}$ でタイプセッティングを行い、 $\text{dvi}2\text{pdf}^{\text{m}}\text{x}$ を使用した。

科学の古典文献の電子図書館「科学図書館」

<http://www.cam.hi-ho.ne.jp/munehiro/sciencelib.html>

「科学図書館」に新しく収録した文献の案内、その他「科学図書館」に関する意見などは、「科学図書館掲示板」

<http://6325.teacup.com/munehiroumeda/bbs>

を御覧いただくか、書き込みください。